

第4学年1組 社会科学学習指導案

平成25年9月19日(木) 第3時限 4年1組教室 授業者 原田康成

1 単元 暮らしをまもる ～消防の仕事～ (16時間完了)

2 単元の構想

(1) 児童の実態

本学級の児童は、男子19名、女子17名、合計36名で構成されている。社会科に対しての意欲の差は個人によって大きく異なるが、「好きだ」と答える児童が半数を超え、多くは前向きに取り組む様子が見られる。これは、自分の生活と関わりのある教材が対象であることや、現地へ見学に行く機会があったり、教室の内外で本物と出会う場面があったりすることが関係していると考えられる。これまでに、仁木浄水場や中央クリーンセンターへ見学に訪れたことや、校地内の水道の蛇口数を数えたこと、家庭で出されるごみの種類を一週間調べ続けたことなどあり、そこでは楽しみながら学ぶ姿が多く見られた。

一方で、全教科を通して教室での通常授業に目を向けると、積極性のある男子児童が発言を多くして授業を引っ張り、他大勢の児童がやや消極的で自分の考えを進んで発表することを躊躇する様子を日常感じる。級友の意見に関連付けて発言することがやや苦手であるため、友達の発言をよく聞き、その上で自分の考えも進んで発表できるような授業を目指して、現在取り組んでいる。

(2) 単元についての考え

普段、何気なく生活をしているわたしたちではあるが、実際には、警察・消防機関などにより、安全に暮らせる環境が整っているといえる。この事実気付かせることは大切であり、本単元では身近に起こる災害として火災を取り上げて学習する。

消防署は、火災発生に備えて訓練をしたり、火災予防に努めていたりしており、緊急の事態が発生した場合には、関係諸機関と協力し合いながら対処する計画がある。また、これらの活動が限られた範囲で行われているのではなく、広い地域にわたり協力し合っている事実にも気付かせたい。そこで、見学や調べ学習で情報を十分に蓄積させ、その後、身近な問題として考えさせる機会をもつことでねらいに迫りたい。

本単元の学習を通して、火事がなく安全に暮らせる生活への願いが人々にはあり、そのために平素から防火に対する取り組みがなされていることにも目を向けさせたいと考えている。その上で、自分たちにもできる火災予防を考えさせ、家庭・地域の防火に積極的に関わろうとする態度を育てたい。

(3) 指導の手だて

本単元では以下の点に留意して指導計画を作成した。

- ① つながりを意識した授業を心がけるために、前時までに学習したことを授業の導入で確認する。
- ② 多面的な見方を養うために、グループで相談し合ったり、考えを発表し合ったりする場面を設ける。また、机の配置形も3人組や5人組など、場面に応じて工夫する。
- ③ 意欲的に学習に取り組めるようにするために、調査活動や消防署見学を設定する。また、その際には、事前に予想を立てた上で調査させるようにする。
- ④ 学習対象が身近な問題であると意識させるために、岡崎市の電話帳を利用したり、学校火災を想定して消火場面をシュミレーションしたりする機会を設ける。

つかむ

追究する

広げる

子供の活動	教師の活動	図の視点
<p>学校で火事が起きたら、どうなるのか考えてみよう (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくたちは、すぐに運動場へ避難するんだね。 火災報知機がなって、すぐに消防車が来るはずだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度4月に行った火災避難訓練の写真を提示し、場面を想起させる。消防士による消火活動を予想させる。 	
<p>学校の中に、火事が起きたときに役立つ設備はどれくらいあるのか、探してみよう (2~3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消火器がとてもしっかり設置されていたよ。 火災報知機や救助袋など、たくさんの設備があるね。 	<ul style="list-style-type: none"> 3名程度の小グループを組み、学校敷地内や校舎内を回らせて、消火設備を小学校平面図に記入させる。その際、あらかじめどのような消火設備があるのかを説明しておく。 	③
<p>119番通報をしたら、どうなるのかな (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 119番通報したら、通信司令室とつながるんだね。 どんなところか、見に行きたいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防署関係の番号が記載された電話帳のコピーを配布し、関連付けながら、119番通報したとき、どうなるのかを考えさせる。 	
<p>見学で見てきたいことを考えよう (5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防車の工夫を知りたいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に質問を考えさせ、自分なりの視点をもって見学に臨めるようにしておく。また、消防車の設備、消防士の仕事など、複数の視点を与えた上で事前に予想させておく。 	③
<p>消防署の見学に出かけよう (6~8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防車が何種類もあるんだね。 消防士さんの服装は、特別なんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような工夫が消防署にはあったのかに焦点を当ててまとめさせる。 	③
<p>見学を振り返ろう (9)</p> <p>北舎3階が火事になったらどうなるのか、どのような消火活動がされるのか、予想しよう (10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的に予想するのは、難しいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校火災をシミュレーションさせる。 	
<p>予想したことを、発表しあおう (11) 本時</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防車がプールの横に来て、プールの水を使うんだよ。 はしご車は来るのかなあ。 実際の計画を知ることができて、うれしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の消火設備を調査したことや消防署見学をふまえて、学2校で火災が発生したときに、どのような消火活動・救助活動が行われるのかを予想させる。 根拠を持って考えを発表するようにさせる。 学校外にも消火設備があるのかを、学区を歩きながら調べる。 	④
<p>家が火事になったら、どうやって消火するのか (12)</p> <ul style="list-style-type: none"> どこの水を使って消火するんだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 学区をくまなく回ることはできないため、探しに行けなかった場所については、あらかじめ写真をとっておく。 	
<p>学区内の消防施設や設備を探しに行こう (13~14)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消火栓や防火水槽を見つけたよ。 今まで気がつかなかったなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団に所属経験のある家族がいる児童に、どのようなことをするのか、どのような苦労があるのかを聞き取り調査させ、みんなの前で発表してもらう。 	③
<p>消防団ってなんだろう (15)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の人たちも、協力してるんだね。 		
<p>火事が起きないために、わたしたちが気をつけることは、どんなことだろう (16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ライターを使って遊ぶのは、絶対にだめだね。 花火の後始末をしっかりとしないとイケないね。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめを行うことを通して、地域の一員として、防火に協力しようとする自覚や態度の育成を目指したい。 	

4 単元の目標

- (1) 人々の安全を守るために備えられている施設や設備、火災予防に努める人々の仕事を進んで調べようとする。また、これらの活動を自分の身近な問題として関心をもつ。(関心・意欲・態度)
- (2) 人々が安全な暮らしをおくるために、様々な人々や機関が協力し合いながら、組織的・計画的に火災防止に努力していること、緊急事態に対応していることについて考える。(思考・判断・表現)
- (3) 地域にある防火に関する施設・設備などの位置や働き、消防署を見学してそこで働く人々の仕事について調べたことなどを、絵や文章で適切に表現する。(観察・資料活用の技能)
- (4) 消防署や消防団の人々が互いに連絡を取り合いながら緊急時に対処していることや、そこで従事している人々の工夫や努力について理解する。(知識・理解)

【E S Dの視点】

- ③多面的、総合的に考える力：調査活動や見学を通して、消防に対してどのような備えがしてあるのかを多面的に理解したり、考えたりすることができる。
- ④公平に判断し、分析する力：友達の意見を聞き、自分の考えに活かしていくことができる。

5 本時の授業 (11/16)

(1) 構 想

本時は、岩津小学校の「パソコン室」が火事になったとき、どのような消火活動がされるのかについて考える授業である。子供たちには、消防署見学で見聞きしてきたことや校内にある消火設備についての知識をもとに、前時に予想を立てた。この予想をもとに話し合いを行い、最後に、消防署が作成した計画図を示す流れの授業を行う。

まずは、小グループ内で自分の考えを根拠づけをしながら発表させることで、その後の発言意欲を高めたい。その後、一名の児童に学級全体の前で発表させ、全員で練り上げていく形をとる。

意見交換をするなかで、子供たちからあがった疑問点などを全体に広げていく過程を通して、「なぜ、そうなのか」を考え、深めさせたい。

(2) 目 標

- ・見学等の調査活動を踏まえて、火災が発生したときの消防署員の活動を予想する。また、消防車等の配置図を読み取る活動を通して、消火作業について理解することができる。
- ・わたしたちが安全に暮らせるように設備が備えられていることや、消防署では消火活動の計画がされていることが分かる。

(3) 準 備

①児童…社会科ノート

②教師…校舎の平面図を拡大したもの テレビ パソコン 消防署見学の写真
消防署作成の消防車両等の配置図 消防車のイラスト

(4) 展 開

◎がんばり玉

時間	児 童 の 活 動	教 師 の 活 動
つ か む 5	1 消防クイズをする。 ・ この車は、ポンプ車だ。 ・ 24時間体制で勤務しているんだ。 2 本時の学習課題を知る。	・ 授業への意欲が高まるよう、見学を振り返るような簡単なクイズを出していく。 ・ これまでに起きた漏電による火災のニュースを各大画面で示し、本時の学習課題へとつなげていく。
	岩津小学校の「パソコン室」が火事になったとき、どんな消火活動が行われるのだろう (負傷者が2名発生)	
み が き あ う 30	3 火災の写真(創作)を見せ、まずは、どんな消火作業が行われるのかを考える。 ・ まずは、先生が消火器を使うのかな。 ・ すぐに火災報知機を押すんだよ。 4 消防署は、どんな活動をするのか、〇〇君の予想を聞いてみよう。 ・ まずは、けがをした人を助けるのが一番だから、助けに来るはずだよ。 ・ 20メートルのホースを何本もつないで、消火活動をすると思うよ。 ・ きっと、3階だからはしご車が来て消火するんじゃないかな。 ・ ぼくの予想と違って、〇〇さんの考えでは、消防車が7台も来るんだなあ。 ・ プールから水をとって消火活動するなんて、思いつかなかったなあ。 5 消防署が作成した消防計画図を見てみよう。 ・ 校舎をまたいで消火するなんて、びっくりしたなあ。 ・ 燃え方によって、消火の仕方を変えるんだね。 ・ プールの水を使って消火するんだ。だから、冬でもプールの水は抜かれないんだ。 6 授業の振り返りをする。 ・ 消防車は理科室前にまとまって止められます。これは、プールの近くに消防車を止めて、プールの水を消火で使うためです。消防署がしっかり準備をしてくれているので、もしもの時でも安心です。	・ 時間を1分間とり、予想させる。また、何人かに板書させ、どのような順序で行われるのかも考えさせる。 ・ 消防署員の活動に焦点を当てて考えるよう促し、前時に予想した消防車の配置について視点を移動させる。 ◎ 学校内での調べ活動や消防署見学を通して分かったことを十分に踏まえて予想させた前時のプリントを見ながら、はじめに3人組で発表しあい、その後、学級全体で話し合いを行う。 ・ 発表の際には、そう考えた理由とともに述べるよう指示する。 ◎ 一人の子の予想をたたき台とし、学級全体で検討していく。 ・ 話型(黒板上部に貼付)を意識して発表できている子を称賛する。 ・ 自分たちが予想したものとどう違うのかを検討させ、その理由について考えさせる。 ・ 消防署に作成してもらった岩津小学校の消防計画図を黒板に貼り、子供たちに図を見て思ったことを発表させる。また、そこで出た疑問を、消防署に電話をして消防士より聞く。 ・ 分かったことや思ったことなど、本時の振り返りをノートに記述させる。同時に、疑問や興味を持ったことなども感想に付け加えるよう指示する。
ふ り か え る 5		

(5) 評 価

- A: 消防車両等がどこに止まり、どのような手順で消火活動が行われるのかについて、理由を含めて理解することができる。また、事前に消火計画がされていることを知ることで、わたしたちの生活が守られている事実に気付くことができる。(活動6のノートより)
- B: わたしたちが安全に暮らせるよう、消防計画が作られていることに気づくことができる。(活動6のノートより)